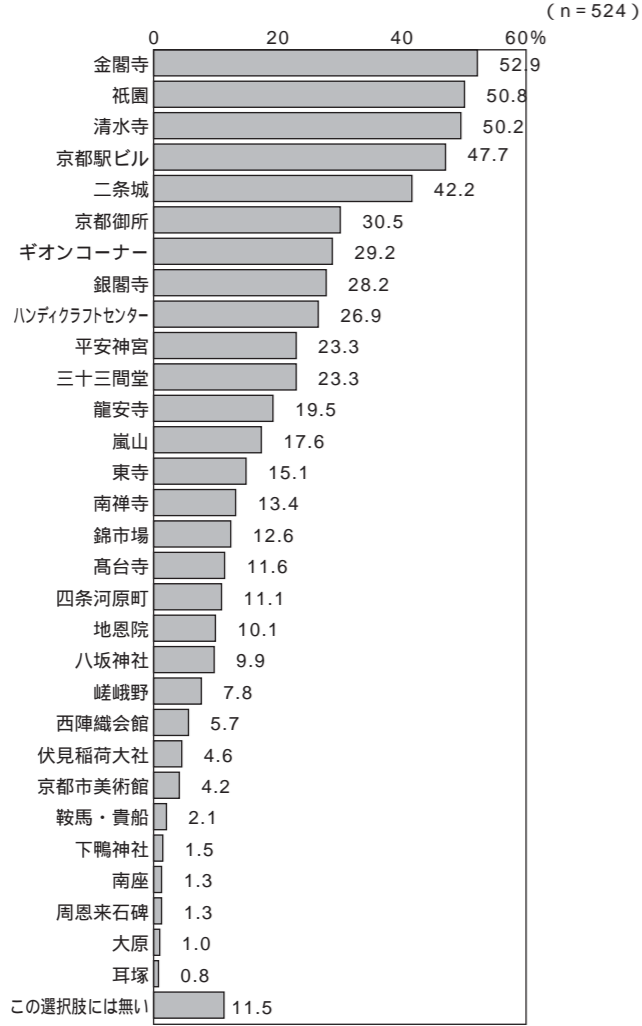


# 来訪動機1位は「寺院・神社」

## 京都市「外国人観光客動向・意識調査」から

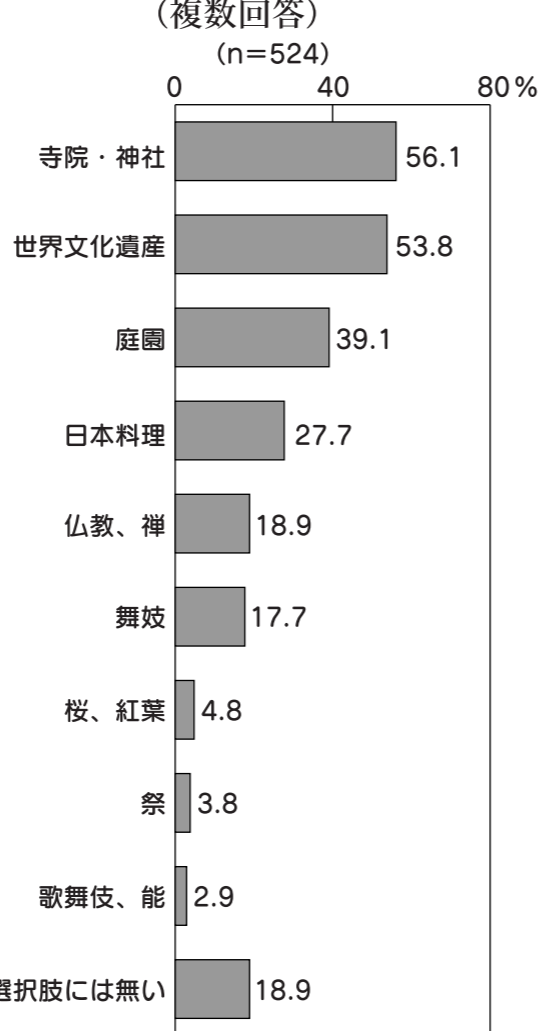
京都滞在中の訪問地(複数回答) (n=524)



### 市内で訪問した場所

市内での訪問地は金閣寺、祇園、清水寺、京都駅ビル、二条城の順で多かったが、その差は少なく、多くの訪問地も含め様々に分散している。滞在日数は3日、2日の順に多く、平均滞在日数は3・1日

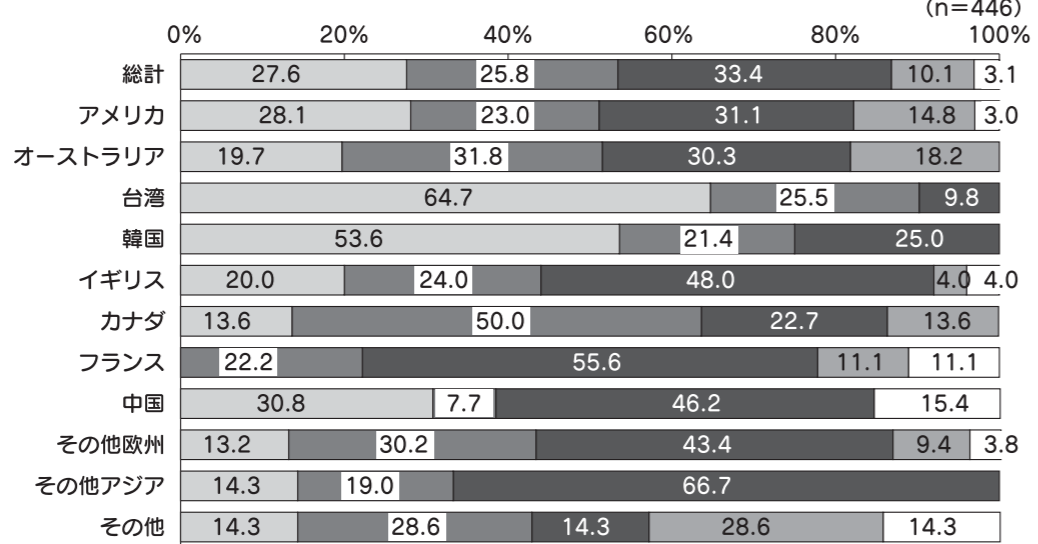
京都観光への来訪動機(複数回答) (n=524)



### 来訪動機

「寺院・神社」「世界文化遺産」が多く、「庭園」「日本料理」がこれに続いている。国・地域別に見ると、寺院・神社は北米、欧州に対して強い訴求力(60~76%)を持つが、中国、韓国、台湾に対しては比較的弱い。世界文化遺産の冠は各国の旅行者に京都への来訪を促す魅力となっている

ツアー参加の有無(観光目的の回答者のみ) (n=446)



京都市内で使った1人当たりの平均消費額(円)

	総額	宿泊	飲食	交通	みやげ品	その他
外国人	71,973	40,469	10,449	6,053	9,097	5,904
アメリカ	81,692	44,921	11,677	7,833	10,004	7,256
オーストラリア	65,627	38,590	9,837	4,480	7,365	5,356
台湾	57,710	31,000	7,355	5,328	9,189	4,839
韓国	58,286	30,572	9,438	6,531	6,988	4,758
イギリス	78,225	49,457	10,080	5,522	9,380	3,786
カナダ	61,318	34,167	8,191	5,476	7,957	5,528
フランス	79,908	44,659	10,131	5,273	12,783	7,063
中国	53,955	30,333	7,462	5,214	5,579	5,367
その他欧州	78,446	46,968	11,483	5,373	9,805	4,816
その他アジア	69,770	36,548	11,614	5,350	8,341	7,917
その他	66,042	32,500	11,333	5,333	9,875	7,000
不明	117,010	62,500	18,751	10,375	14,584	10,800
日本人	30,932	10,383	7,499	3,121	6,324	3,605

### 1人当たり消費額

市内での1人当たり消費金額は宿泊費が4万469円、飲食費が1万499円、交通費は6053円、みやげ品が9097円、その他5904円で、いずれも日本人の宿泊観光客に比べて高くなっている。これは滞在日数の長さなどの影響と考えられる。アメリカは全項目で回答者の平均を上回り、オーストラリア、カナダ、中国は全項目で下回っている

# 初の調査/訪問先は「金閣寺」/消費額は1人7万1973円

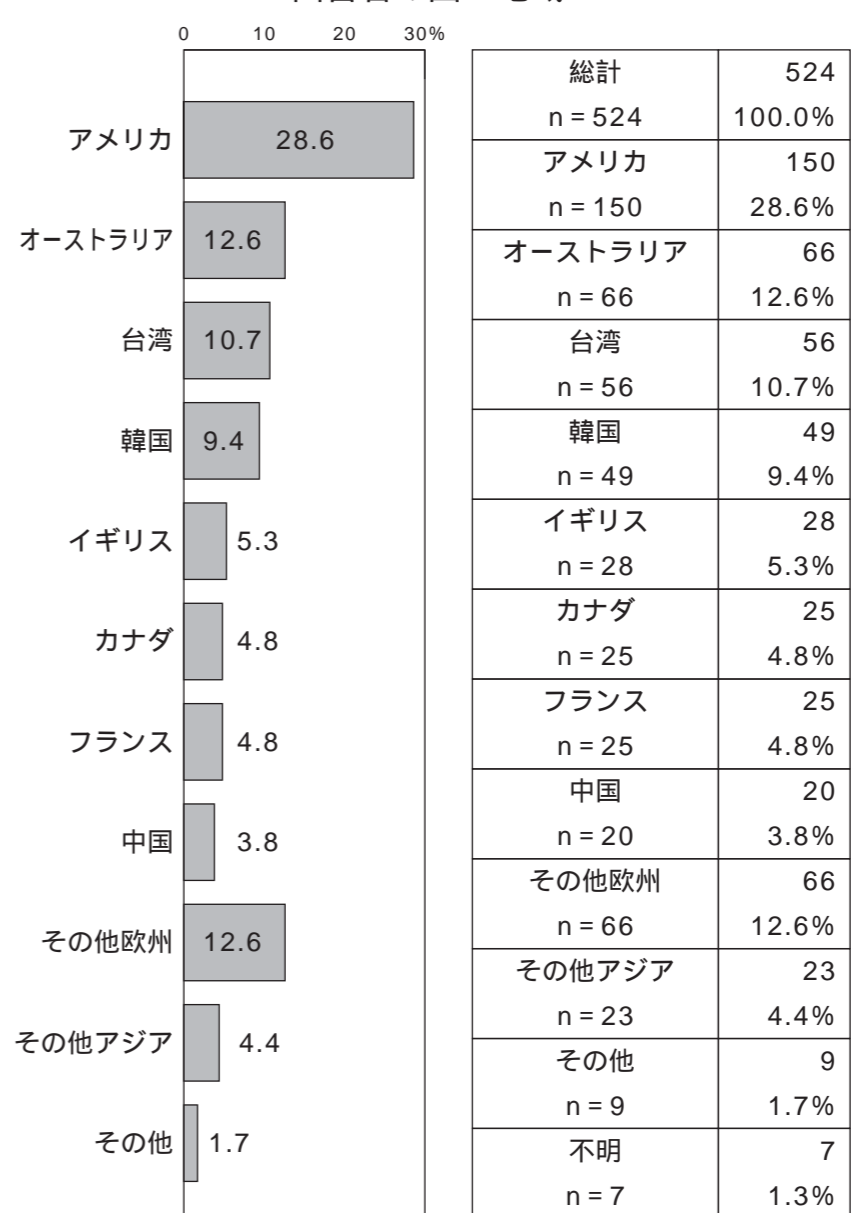


京都市はこのほど、市を訪れる外国人旅行者の「動向・意識調査」の結果を発表した。それによると、来訪の動機は「寺院・神社」の見学が最も多く56・1%で、「世界遺産」を見たという53・8%をわずかながら上回った。訪問場所1位は金閣寺で、次いで祇園、清水寺と続いた。1人当たりの消費額は7万1973円だった。

同調査は、市を訪れる外国人旅行者の動向やニーズを把握し、誘致活動を行うための基礎資料とするもので、初めての試み。

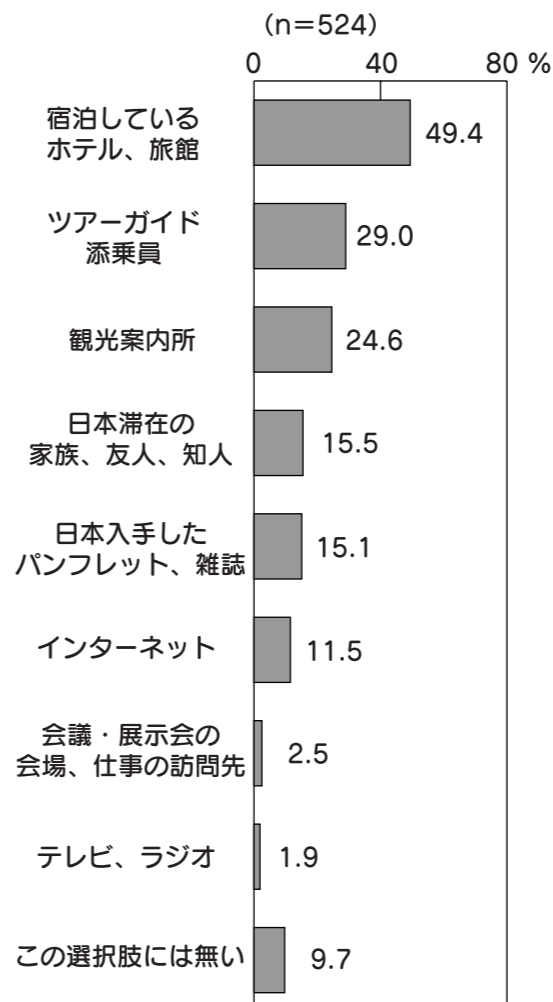
昨年6・7月、柘家や綿善旅館、旅館八千代など市内12カ所の宿泊施設に泊まっている外国人旅行者に調査票を配り、回答してもらった。米国人150人、台湾人56人、英国人28人など計524人から回答を得た。

回答者の国・地域

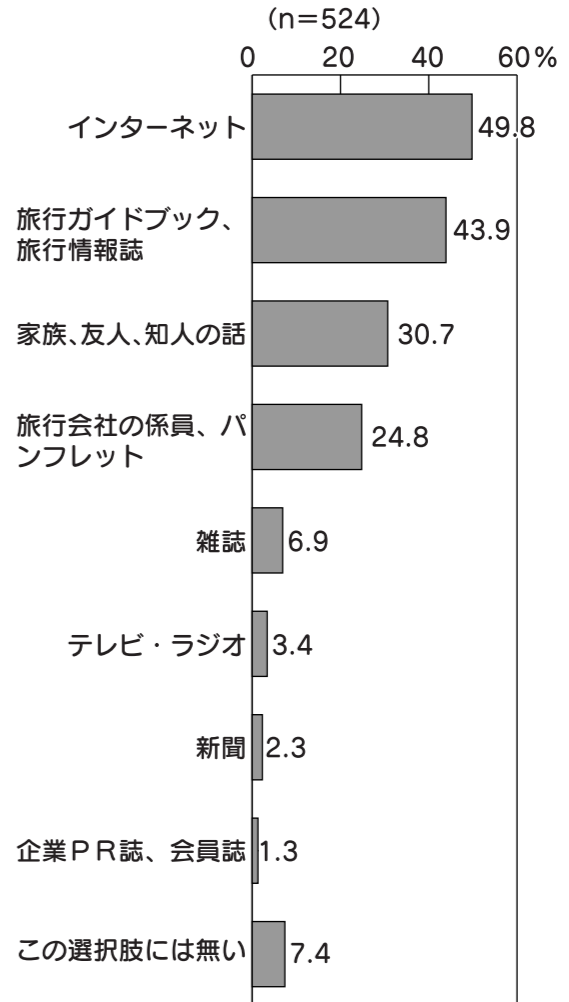


回答者の属性  
国・地域別ではアメリカが最も多く、約3分の1を占めている。次いでオーストラリア、アジアでは台湾、韓国が多い。回答者の69%が1年以上の海外旅行に出かけており、海外旅行に慣れている外国人の意見を得た。年齢は30代を中心に、20・50代が78・2%となっており、様々な世代の意見を得られた。

京都観光に関する情報の入手先(京都で) (複数回答) (n=524)



京都観光に関する情報の入手先(母国で) (複数回答) (n=524)



入浴後の観光情報入手  
入浴後の観光情報入手は「宿泊しているホテル・旅館」が最も多い。欧米各国の回答者に比較的多く、中国、韓国、台湾は少ない。台湾は「ツアーガイド・添乗員」、中国は「インターネット」の利用が多くなっている。

出発前の観光情報入手  
母国での京都に関する情報の入手は「インターネット」が最も多く、次いで「旅行ガイドブック・旅行情報誌」となっている。インターネットについては、いずれの国・地域でも40・50%の利用がある。旅行ガイドブックからの情報入手が多いのはフランス、台湾、イギリス。

調査データ